

第2回 盛岡地区かわまちづくりワークショップを開催します！

<仮称：かわまちづくり中津川ワークショップ>

盛岡市と岩手河川国道事務所では、盛岡地区かわまちづくりの具体的な整備内容について、意見・アイデアを募るため、ワークショップを開催いたします。

第1回ワークショップ（7月13日開催）において、自然環境の保全・活用、かわとまちを結ぶ連携空間の創出、川を活かすためのソフト施策等、多くの意見をいただきました。

今回は、第1回の意見を基に、より具体的な（どこで、どのように、誰がなど）内容について、意見をいただく予定です。

第2回 盛岡地区かわまちづくりワークショップ

- ◆日時：平成22年8月11日（水）18:30～21:00
- ◆場所：プラザおでって 3階大会議室
(盛岡市中ノ橋通1-1-10)

第3回

- ◆日時：9月上旬予定
- ◆場所：未定

* 参考資料（別紙のとおり）

- ・中津川かわまちづくり通信VOL1（第1回ワークショップ結果概要）
- ・中津川かわまちづくり通信VOL2（オープンハウス結果概要）

<発表記者会： 岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所 019-624-3198
工務第一課長 ^{ひかべ}日下部 栄一
盛岡市 019-651-4111
商工観光部観光課 課長補佐 小笠原 千春

盛岡地区かわまちづくりワークショップ 中津川かわまちづくり通信



盛岡地区かわまちづくり、いよいよ始動！

今年3月、市民活動関係者、学識経験者、盛岡市、及び河川管理者である岩手河川国道事務所で構成される「盛岡地区かわまちづくり懇談会(平成22年1月設立)」において、『盛岡地区かわまちづくり計画(案)』がとりまとめられました。

当計画(案)の実現にあたっては、市民との協働による事業推進のため、かわづくり、まちづくりの情報共有を図り、多様な意見を伺いながら、事業を進めることとしています。

何が始まるの？

～かわとまちとの連携によって魅力ある水辺へ～
盛岡地区かわまちづくり計画(案)の実現化に向け、盛岡市のまちづくり、岩手河川国道事務所のかわづくりの一体的な利活用・整備が始まります。

どのように進めるの？

～情報発信・意見集約のサイクルを繰り返します～
ワークショップ等の情報共有、意見収集を行いながら、「盛岡地区かわまちづくり懇談会」と盛岡市、岩手河川国道が協議しながら進めます。

この度、主に事業主体となる盛岡市、それを支援する岩手河川国道事務所は、中津川の一部区間(上の橋～下の橋)の具体的な整備内容について、広く意見・アイデアを募るワークショップを開催することになり、かわまちづくりがスタートしました。

盛岡地区かわまちづくり計画(案)の概要

～盛岡かわまちミュージアム～

北上川・中津川と地域住民がともに育んだまちの歴史・文化や、生命の息吹を感じるかわの自然を大切に、地域住民の暮らしの中で、盛岡の魅力を広く知ってもらう身近な交流の場、そんな「かわ」と「まち」と「ひと」とが共存し続ける水辺づくりを目指す。

基本方針(案)

1. ひと・かわ・まちの連携の再構築
2. かわとまちの自然環境の保全・活用
3. かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用
4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出

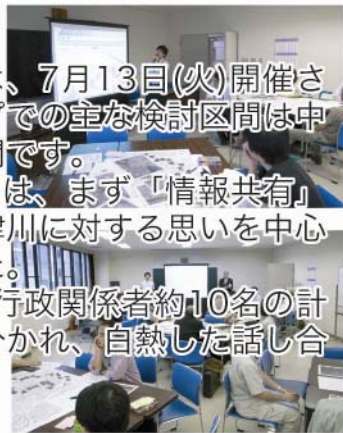


第1回ワークショップ開催しました。

第1回ワークショップは、7月13日(火)開催されました。ワークショップでの主な検討区間は中津川上の橋～下の橋の区間です。

第1回ワークショップでは、まず「情報共有」をテーマに、参加者の中津川に対する思いを中心に議論していただきました。

市民から参加者30名、行政関係者約10名の計40名が5つのグループに分かれ、自熱した話し合いが行われました。



スケジュールは？

3回のワークショップ等により提言(書)をとりまとめ、盛岡地区かわまちづくり懇談会に提出します。
懇談会及び盛岡市、岩手河川国道事務所は、その提言を踏まえ、整備可能な内容について順次、ワークショップに報告しながら整備を進めていきます。

進め方(案)





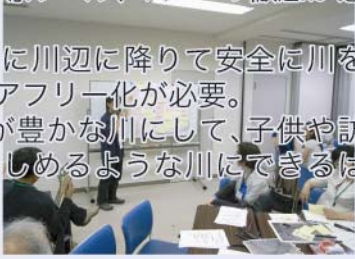
議論白熱！市民目線の提案がいっぱいです

○ 主な意見（グループ発表より）

参加者みなさんの中津川に対する熱い思いが伝わりました。主な意見をご紹介します。

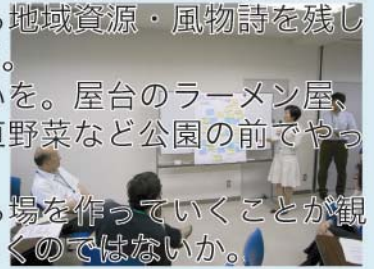
● River8(7名)

- ・安らぎの場(休憩施設やカフェバーなど)を整備してほしい。
- ・自転車が通れるレーン、レンタサイクルなどがほしい。合わせて利用ルール、マナーの徹底が必要。
- ・障害者の方でも安全に川辺に降りて安全に川を楽しんで頂けるバリアフリー化が必要。
- ・もっと自然、生き物が豊かな川にして、子供や訪れる人達がもっと楽しめるような川にできるはず。
- ・上流の水源を守る。



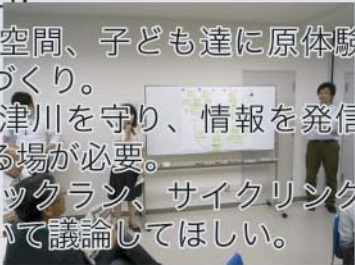
● まちに賑わいを‘産直屋台’ (6名)

- ・水辺に触れる場所、または避難するための緩やかなスロープが必要。
- ・杜陵小学校前は自然豊かであり、遊歩道整備あたってはその川の資源を守る配慮が必要。
- ・中津川にまつわる地域資源・風物詩を残していく努力が必要。
- ・盛岡らしい賑わいを。屋台のラーメン屋、リアカーでの産直野菜など公園の前でやってはどうか。
- ・市民が来て喜べる場を作っていくことが観光につながっていくのではないかと。



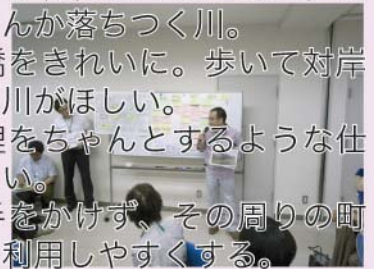
● リバービレッジ(5名)

- ・人が集まる楽しい空間、子ども達に原体験を与えるような川づくり。
- ・盛岡の宝である中津川を守り、情報を発信し、意見交換できる場が必要。
- ・問題提起としてドックラン、サイクリングコースの有無について議論してほしい。



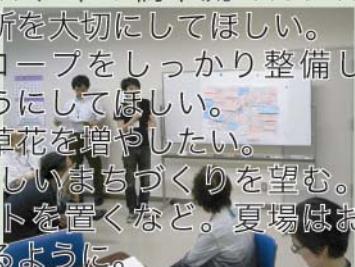
● 老若男女のかわまちづくり(7名)

- ・観光客が来る川。子供同士で遊べる川。心地よい、行くとなんか落ちつく川。
- ・トイレの整備、橋をきれいに。歩いて対岸まで行けるような川がほしい。
- ・草刈等の維持管理をちゃんとするような仕組みを作ってほしい。
- ・できる限り川に手をかけず、その周りの町の中を整備する、利用しやすくする。



● 夜が楽しい中津川(5名)

- ・上の橋近くでホテル、中の橋下流でカジカガエルが見れる場所を大切にしてほしい。
- ・フットパス、スロープをしっかり整備して、周遊できるようにしてほしい。
- ・団子石を増やす。草花を増やしたい。
- ・夜の景観、夜が楽しいまちづくりを望む。フットパスにライトを置くなど。夏場はお店がずっと出ているように。



ファシリテータのつぶやき

人が好きで、川が好きです。ファシリテータのお役目を担うようになって10年以上になります。全国各地の川を愛する人と知り合えることが何よりの楽しみです。今回もみなさんの中津川への愛と、真剣な姿に触れ、大きな元気をいただきました。盛岡のすばらしい宝をみんなで守り、育てていくため、微力ながらお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。(松本健一)

盛岡地区かわまちづくりオープンハウスin中津川ご案内

(どんど晴れ！中津川めぐみ感謝祭2010夏)

盛岡地区かわまちづくり計画(案)等に対するご意見募集します！

(展示パネル・アンケートなど)

- 日時 平成22年7月24日(土)11時～16時
25日(日)11時～15時
- 場所 中の橋下流河川敷(仮設テント)



問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 工務第一課

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

電話：019-624-3198（工務第一課直通） Fax：019-652-7450 Eメール：iwate@thr.mlit.go.jp

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

盛岡地区かわまちづくりワークショップ 中津川かわまちづくり通信



どんどん晴れ！中津川めぐみ感謝祭2010夏開催

今年で4回目を迎えた「どんどん晴れ！中津川めぐみ感謝祭2010夏」が開催されました。



主なプログラム

- ・水遊びプール
- ・ゴムボート川下り
- ・イワナつかみどり
- ・生き物観察会
- ・ペットボトルで魚とり
- ・染め物流し
- ・中津川屋台村
- ・野外ステージ音楽会
- ・涼風茶屋かじか
- ・ポニー乗馬

●開催日

2010年7月23日(金)～25日(日)

●開催場所

川遊びメイン会場：中の橋下流河川敷
サブ会場「涼風茶屋かじか」：ござ九さん裏道路

●主催等

主 催：どんどん晴れ中津川実行委員会
参加団体：NPO法人もりおか中津川の会
おもてなしプラザ運営協議会
中津川を語る会
後 援：(財)盛岡観光コンベンション協会
盛岡市、国土交通省岩手河川国道事務所



ゴムボート川下り



染め物流し



イワナつかみどり



涼風茶屋かじか



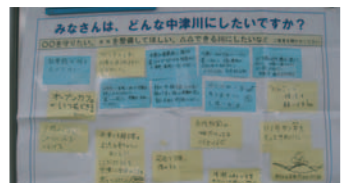
盛岡地区かわまちづくりオープンハウス

屋台村の一角に国土交通省のテントを出店し、中津川に関する川づくりの取り組みなどをパネルで紹介しました。

また、掲示板を設けて「どんな中津川にしたいか」について自由に意見を書いてもらいました。

展示内容

- ・盛岡地区かわまちづくりの検討内容
- ・サケの生息調査結果
- ・明治43年の洪水被害



- ・中津川に降りるスロープや階段などを作ってほしい。
- ・市役所前のスペースを川とつなぐ。
- ・川原に御影石のベンチを置いてほしい。
- ・杜陵小や野の花美術館の前に、潜り橋を架けてほしい。
- ・洪水のときに開くような流れ橋があれば良い。
- ・飛石で対岸に渡れるといい。
- ・川遊びできる、浅瀬のあるV字型の川にしてほしい。
- ・“だんご石”復活を願います。
- ・カジカのいる盛岡にしたいです。

- ・川の灌木をとってきれいに。
- ・中州が不自然なところがある。
- ・中津川全川にわたってこんな場所があればいい。
- ・来年は中の橋架橋400年！感謝の思いを育む企画を開催してほしい。
- ・三橋巡りとこのイベントをつなげる。
- ・中の橋だけではなく中津川全体を考えて欲しい。
- ・中津川を語る者は上流を見てからにすべし！！
- ・紺屋町の一里塚の担った役割を市民に広めてほしい。



アンケートの結果

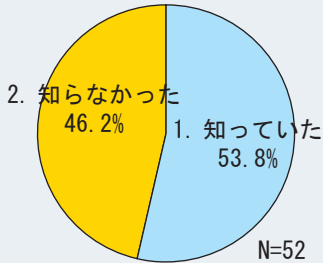
ご協力ありがとうございました。



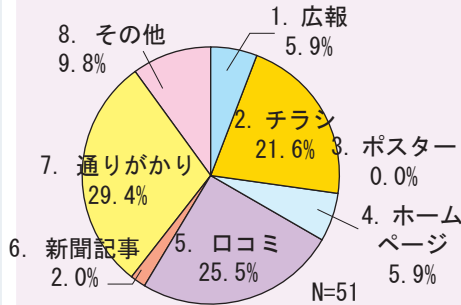
中津川のオープンカフェ水辺を眺めながら飲食できる休憩施設によるにぎわいづくりの効果を把握するため、来場者へのアンケート調査を行いました。

回答いただいたアンケートの結果を紹介します。（回答者数52名）

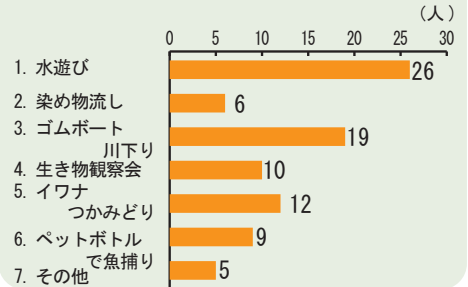
● どんと晴れ！中津川めぐみ感謝祭2010夏のイベントを知っていましたか？



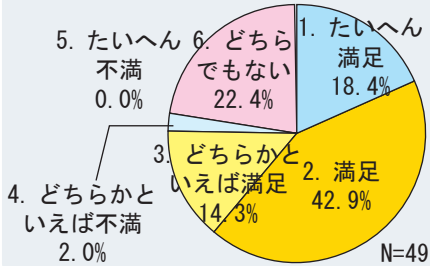
● イベントを行っていることを、何で知りましたか？



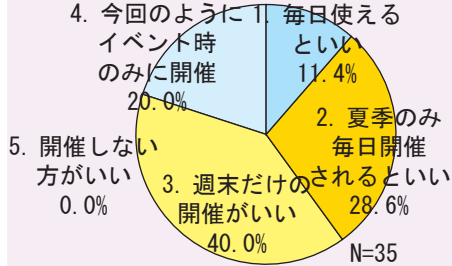
● 参加する（参加しようと思っている）プログラムは何ですか？



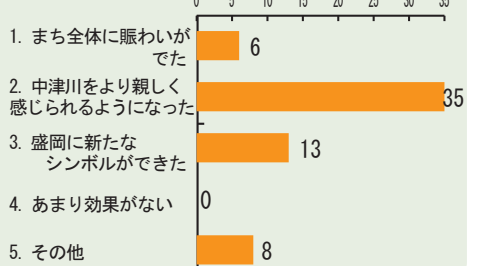
● オープンカフェには満足されましたか？



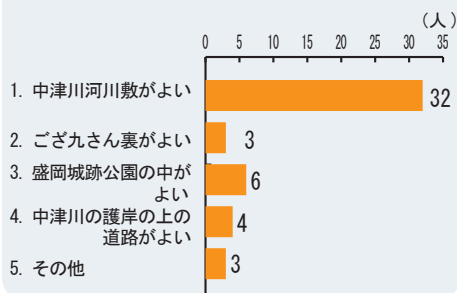
● オープンカフェ開催回数を増やすことに対してどう思いますか？



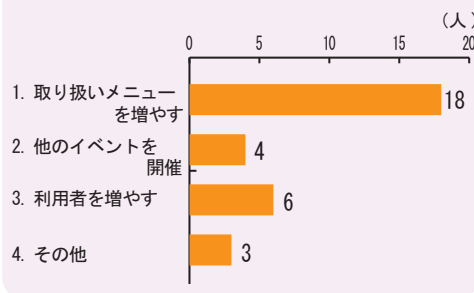
● 中津川のオープンカフェについて、どう思いますか？



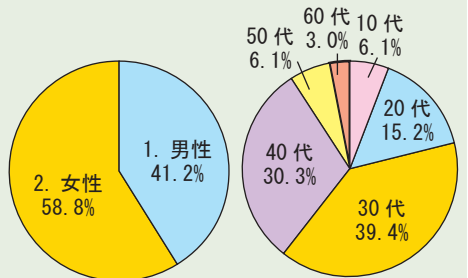
● オープンカフェの場所は、どこがよいと思いますか？



● オープンカフェでさらにどんな工夫があればいいと思いますか？



● ご回答者



● 自由意見 ●

- 川下り楽しかったです。もう少し長く乗れたら良かったかな。もどってくるのがちょっと大変ですね。
- 子供と一緒に遊べてとても楽しいです！
- 混み具合もちょうど良く、どのプログラムも楽しめるのがいい。オープンカフェは護岸の上の道路が木陰でいいと思う！
- もう少し日陰を作り、人が集まれば良いですね。
- 古本市や野菜市など幅広い年齢の人が集まれるイベントがあると楽しい。川沿いのイスに座って買った本とアイスコーヒーでゆったり過ごせたら幸せ。
- さくら山のオープンカフェにはビールなどあって良かったです！中津川にもコーヒーなど飲めるスペースがあったらいい。
- 広報やマシェリで「どんと晴れ！」の告知を見付けることができませんでした。もっと告知するのいいと思います。
- 看板やアナウンスがなく各プログラムが何処でやっているのかわかりにくい。幼稚園、小学校にチラシを配ってはどうか。
- イベント案内が丁寧であつたらいい。どこにいつ集まればよいかわからなかった。テーブルに日傘があればよかった。

問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 工務第一課

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

電話：019-624-3198（工務第一課直通）

Fax：019-652-7450

Eメール：iwate@thr.mlit.go.jp

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/